

進む個人住宅除染

市では、放射線量の低減を目指し、計画的に個人住宅の除染を進めています。今月号では、その進捗状況と除染作業の内容についてお知らせします。



個人住宅除染の主な手順

1 線量、敷地等の事前調査を行います。

対象範囲内5地点の空間線量率の平均値を基に、次のとおり除染の区分を決定します。

空間線量率の平均値	除染の区分
0.23 μ Sv/h以上	面的除染 対象範囲全体の除染を行います
0.23 μ Sv/h未満の場合で局所的に高い地点あり	局所除染 局所的に空間線量率が高い地点(ホットスポット)の除染を行います
0.23 μ Sv/h未満 かつ局所的に高い地点なし	除染対象外

2 除染実施について土地所有者から同意を得ます。

3 現地で除染範囲、除染方法を確認します。

4 除染作業を行います。

5 除去土壌等を仮置き場に搬出します。

6 除染前後の線量について、土地所有者にお知らせします。

個人住宅除染の主な作業

除染作業の順序は、各住宅の形状等により異なりますが、上(屋根)から下(庭・側溝)の順に行います。

- 屋根、雨どい等の洗浄
※屋根等の表面線量率を計ったうえで、除染が必要か判断を行います。
- 芝の深刈り、植木のせん定、落ち葉の収集
- 表土のはぎ取り、アスファルト・コンクリート部分の洗浄
- 敷地内の雨水ます、側溝等のたい積物の除去



▲雨どいのふき取り



▲落ち葉の収集



▲表土はぎ取り



▲アスファルト高圧洗浄

Topic

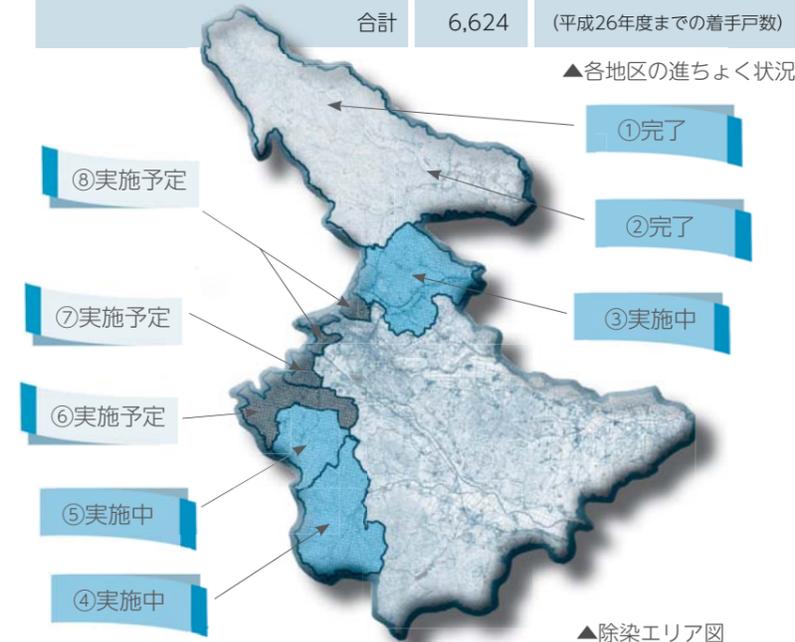
トップセールスで野菜の安全性をPR

5月8日、東京都中央卸売市場大田市場で、JAしらかわの主催により「白河の安全安心PR・風評被害払しょくトップセールス」が開催されました。このイベントは、原発事故の影響で野菜の市場価格が低迷していることから、JAしらかわの組合長や西白河地方の市町村長が自ら市場に出て、白河地方の野菜の検査結果に基づく安全性と味の良さをPRするもので、今回で4回目となります。



▲来場者に安全性とおいしさを伝える鈴木市長

No	地区名	戸数	進捗状況
①	大信大屋地区	363	平成25年8月完了
②	大信信夫地区	844	平成25年12月完了
③	小田川地区	766	平成25年11月から実施中
④	旗宿地区	150	平成25年11月から実施中
⑤	白坂地区の一部(泉岡、五器洗、陣場、白坂パークヒルズ)	378	平成26年1月から実施中
⑥	白坂地区の一部(上記以外)	729	平成26年度実施予定
⑦	みさか、緑ヶ丘、西三坂、大坂山	1,566	平成26年度実施予定
⑧	中山、北真舟、真舟、新白河、高山、第1区、和尚壇、飯沢・金勝寺、金勝寺	1,828	平成26年度実施予定
合計		6,624	(平成26年度までの着手戸数)



平成24年度から開始した個人住宅の本格的な除染作業は、除染実施計画に基づき比較的に進めています。これまで、大信地域(約1,200戸)が昨年12月に完了し、現在は小

平成26年度末までに約6,600戸を実施予定

田川・旗宿・白坂地区の一部(約1,300戸)を実施中です。昨年度に事前調査を終えたみさか・緑ヶ丘・西三坂・大坂山地区と白坂地区の一部(約2,300戸)は、今年度から作業に着手します。また、中山・北真舟・真舟地区および新白河・高山・第1区・和尚壇・飯沢・金勝寺地

区(約1,830戸)も事前調査を行い作業を始める予定です。さらに下半期には、昭和町・会津町・九番町・向寺・女石地区(約4,000戸)の事前調査にも着手する予定です。これにより、今年度末には、個人住宅約6,600戸の除染が完了する予定です。